

# 経営比較分析表

佐賀県 白石町

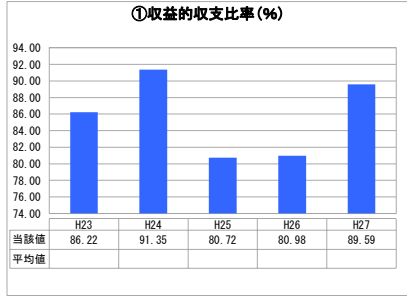
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	20.26	94.55	3,672

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
24,365	99.56	244.73
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,907	2.54	1,931.89

**グラフ凡例**

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 平成27年度全国平均

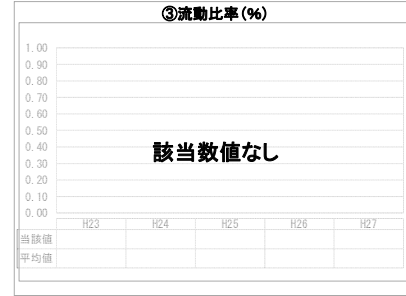
## 1. 経営の健全性・効率性



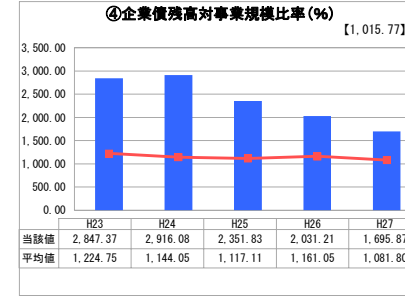
「単年度の収支」



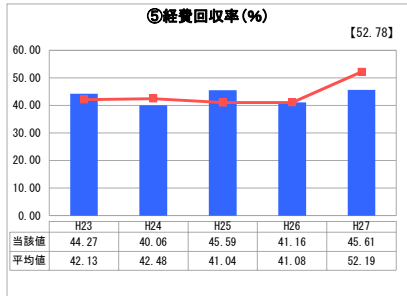
「累積欠損」



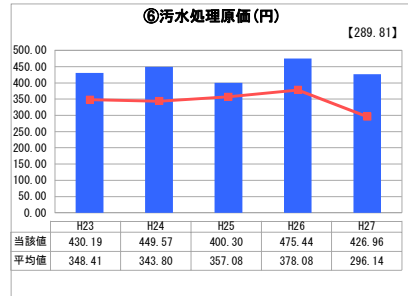
「支払能力」



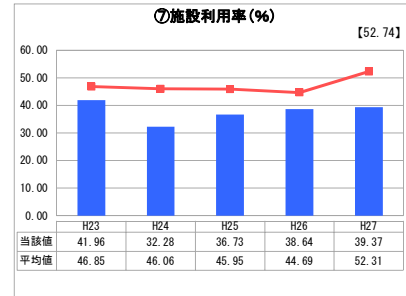
「債務残高」



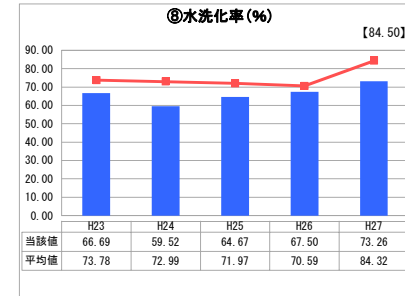
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

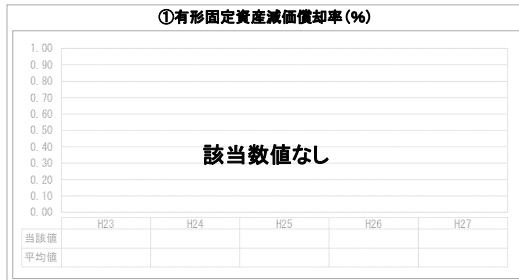


「施設の効率性」

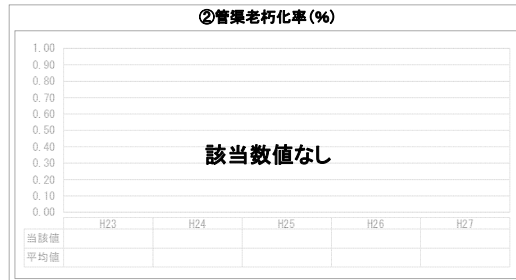


「使用料対象の捕捉」

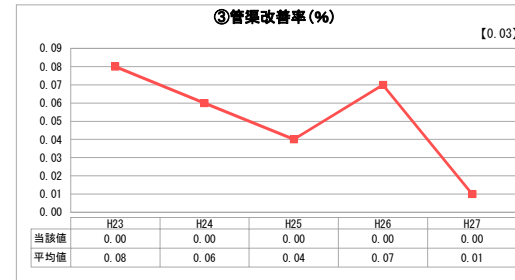
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

農業集落排水事業においては、平成24年6月に須古地区水処理センターの供用開始をもって、整備事業が完了した。平成24～26年度については、須古地区の接続促進のため、下水道使用料の減免を行ったため、維持管理費の伸びに対して使用料の伸びが鈍く、収益的収支比率が落ち込んでいるが、減免期間が終了となった平成27年度には、収益的収支比率が回復している。

依然として、単年度収支は赤字であり、維持管理費等の費用を使用料で賄うことができず、一般会計からの繰入金等に依存している。

類似団体平均値よりも、施設利用率が低いことが、汚水処理原価の高騰につながっており、収益的収支比率の伸び悩みの要因であると考えられる。

### 2. 老朽化の状況について

農業集落排水事業においては、4箇所の処理施設があるが、供用開始から16年が経過した施設もあり、経年劣化や老朽化が進行している。

平成27年度から、施設の機能強化事業を実施し、硫化素対策装置の設置など処理場の腐食対策等を行い、施設の長寿命化を図っている。

### 全体総括

今後も継続して接続促進を図り、有収水量の確保と水洗化率の向上に努め、経営の健全化に努める。

機能強化事業に取り組むとともに、施設利用率が低い施設については、統合を含めて検討し、下水道事業の経営効率化を図る。

平成29年度は、未接続世帯への広報活動を行い、接続を促進する計画としている。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。